



NTBだより

七尾市立七尾東部中学校

学校だより
第 17 号

令和6年2月22日発行

【学校スローガン】

ホーム・マジック・アドレス

メールアドレス

Next Try & Brush up 七尾東部中GIFT

<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/nanaoj/>

toubutyu@edu.city.nanao.ishikawa.jp

少しずつではありますが、 学校生活も一歩ずつ日常を取り戻しています



1月1日に発生した能登半島地震。大きな被害をもたらしましたが、学校の方でも少しずつではありますが、一歩ずつ日常を取り戻そうとしています。学校生活の一部を紹介します。



生徒玄関からの出入りが危険なため校舎裏の非常口から登下校しています。



通学用シューズのまま校舎裏非常口からシートの上を歩いて生徒玄関へ。



2月7日(水)より簡易給食を開始し午後の授業も再開。19日(月)からは汁物の給食も提供されるようになりました。

能昭会より電子黒板をご寄付いただきました

2月20日(火)に能昭会(七尾の30事業所でつくれた「事業の発展と地域社会の繁栄」を念願する有志の会、木下義隆会長、中島忠重副会長、林寿嗣事務局長)より、会の50周年記念事業として学校の環境整備に役立ててほしいという主旨で65型の電子黒板をご寄付いただきました。電子黒板や生徒一人一台端末を活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた主体的・対話的で深い学びの実現をさらにすすめていきたいと思っています。本当に有り難うございました。



2年生立志式が行われました

2月16日(金)に2年生の立志式が行われました。立志式では、各クラスを代表して、品川慶太さん、大星美津樹さん、村本大我さん、川上華さんの4名が立志の思いを発表しました。また、学年を代表して水口怜さんが誓いの言葉を力強く述べました。

その後の記念講演では、セブン能登JY監督であり、育成統括をされている新出誠先生にご講演いただきました。高校、大学時代にサッカー選手として活躍されたことや大学での挫折を通して学んだこと、指導者となり前向きに挑戦したことなどをわかりやすくお話していただきました。生徒たちは、「志を持って努力することの大切さ」や「当たり前と思われることにも感謝することの大切さ」などたくさんの学びがあったようです。有り難うございました。



生徒代表の『誓いの言葉』と新出先生のご講演を聴いての感想を載せたいと思います。



誓いの言葉

私たち126名は、本日「立志式」を迎えました。
立志にあたり、二つのことをここに誓います。

一つ目は、「判断」をすることです。二か月後には最高学年である三年生になります。進路はもちろんですが、日々の学校生活の中でも選択をする場面が増えていきます。難しい選択を迫られることがあるかもしれません。そのとき、自分たちは何が正しいのかを「判断」しなければいけません。その判断のもと、自分の行動に責任を持ち、正しい方向に進んでいきます。

二つ目は、周りの方への「感謝」です。私たちを支えてくれる家族、協力し合い励まし合える友人、熱心に指導して下さる先生方、温かく見守って下さる地域の方々のおかげで、本日、立志式を迎えることができました。このように、私たちは周りの人からの支えを受けて成長してきました。これまで支えてくださったすべての方に「感謝」の気持ちを伝えるとともに、支えられてきたからこそ今の自分があることへの幸せを忘れずに、これからも過ごしていきます。

私たちは、この「判断」と「感謝」を胸に、最高学年へと進級することをここに誓い、自分の将来の夢や目標に向かって日々努力していきます。そして、いつか社会の役に立てる人間となるよう進歩し続けます。



今日の立志式で印象に残ったことは、一度決めたことは諦めず最後まで頑張るということです。私は今まで決めたことでも一回失敗してしまうと諦めていました。でも、今日の立志式を通して諦めず最後まで取り組むことが大切だと分かりました。最後まで諦めずに取り組むかっこいい大人になれるように生きていこうと思いました。

今日の講演を聞いて心に残ったことは、自分を信じて挑戦してみることが大切だということです。今までの私は失敗することが怖いので、難しいことは挑戦してきませんでした。今日のお話を聞いて自分ではできないかもしれないと思うような難しいことにも挑戦してみたいと思いました。

僕が印象に残ったのは、新出先生の経験をそのままお話をされていることです。今の自分と比較しながら聴けました。あきらめかけたとき、どのように切り替えたかなど僕のこれからの人生に役立つお話でした。努力不足であきらめそうになったら、最初の目標を思い出し、結果が100%出ると確信するまで、自分に厳しく、日々努力しようと思いました。

生きている限り燃え続けることと、縁を大切にすることが一番印象に残りました。来世はいつ、何に生まれ変わるのかも分からないし、一度だけの人生を好きに楽しもうと思いました。新出先生は教師をしているときに会った生徒さんと今もサッカーをしていたり、野球肘で野球をできなくなったときにサッカーチーム勧誘のポスターを見てサッカーを始めたりしたという話を聞いて縁ってあるんだなと思いました。出会いには意味があると思うから、これからはもっと人や物との出会いを大切にしようと思いました。



印象に残ったのは、新出先生がサッカーでスタメン落ちになったとき悔しく思い、一生懸命練習していたことです。私も悔しいことがあったらすぐ泣いてしまう泣き虫です。部活動であまり成績が残せなかったとき、部活動を休んでしまったことがあります。そのとき、仲間からたくさんの励ましをもらい、ちょっとずつ元の部活動へと戻れるよう頑張っていました。そして大会で自己ベストを出せました。自分の可能性に限りはないということを実感しました。これからは全力で頑張ります。

【七尾市教育委員会からのお知らせ】

Let's call.. オアシスライン

TEL 0767-52-0783

受付時間: 13:00~16:00(月曜~金曜)

相談内容: 悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

~親と子のなんでも電話相談室~



~オアシスライン担当~